# アイ♥クリエイト

# 桑名女性ネットワーク

お母さん達の活動を もっと知りたい。 もっとつなげたい。

日時: 2015 年 2 月 28 日 (土) 10:00-16:00 場所: 三重県桑名市 / 大山田コミュニティプラザ

主催:桑名女性ネットワーク mama すきる協力 助成:財団法人まちづくり市民財団/きらきら基金

後援:桑名市•桑名市教育委員会

協力:うまし国三重

#### <開催趣旨>

桑名は、経験や技術、得意なことを活かして、独自活動を行う女性が非常に多い地域です。

お母さんであること、家族との時間を大事に思いながら、時間や環境を調整して、自分で「シゴト」を生み出している女性が大勢いるということです。

お母さんは、子供や家族が優先で日常が流れがちです。これはまさに「お母さんのやさしさ」です。

しかし、現代社会はめまぐるしく変わりつづけ、お母さんが「わたしの好きなこと・得意なこと」を自分流のシゴトとして 無理のない時間や環境を整えた中で行う姿が見られるようになりました。

またそれがとても素敵に感じられる時代になりつつあります。

そうしたお母さん達の活動は、個々は小さく感じられるかもしれませんが、つながり合えば、支え合いと励みの場に。 もっともっと、地域の中で、お母さん達、各々の活動を知ってもらいたい。

もっともっと、興味のあることや好きなことでお母さんが繋がり合って、心の癒しや支えになったり、感性の響きあいから新たなチャンスや挑戦へ歩き出すきっかけにしていただきたい。

本イベントは、多くの地域の女性たちを応援し、支え合いと励みの場の礎となり、理解が広まること、またその意思が継承されることを願って開催いたします。

桑名女性ネットワーク 代表 水谷美保

### ■イベント概要

1) お母さんたちの活動 PR/ 体験ブース

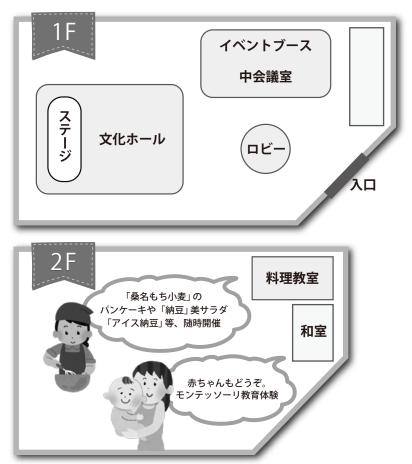
経験・技能・好きなことを活かした活動を行っている女性達に、ブースとして出展してもらい、体験・PR 活動を行う。

2) ステージ (文化ホール /500 席)

お母さんたちの活動披露、または講師・カルチャースクール運営を行うお母さん方の生徒さんの成果披露を行う。

### 3) 料理教室

料理講師(地元で料理教室主宰)による、地元の食材を使った両教室を随時開催





# ■ 総来場者数 約550名

赤ちゃん・幼児・小中学生の子供を連れたお母さん・お父さんが、多数来場されました。









桑名市長さん、桑名市議会議員さん、三重県さん、桑名市さん、名古屋市教育委員会さん、きらきら基金さんから、視察にいらして頂きました。





企業様からご提供頂いた商品は、スタンプラリーでのお土産や、試食(調理)、ワークショップで、PR させていただきました。









# PR/ 体験ブース

お母さんたちの活動 PR/体験ブースでは、お母さんのための体験ブース、子供のための体験ブースをご用意し、来場した人たちが幅広く楽しめる仕組みを盛り込みました。

# ●「"こどもカフェ"で職業体験ワークショップ」 by mama すきる

来場した子供達に、「30分ウエイトレスさんすると、ドリンク無料」でお仕事体験をしてもらい、会場のお客様へ、"飲み物販売とウエイトレス"のお仕事をしてもらいました。







ウエイトレスさんの制服を着てもらい、コーヒーやジュースの販売・おもてなしを行いました。





# 株式会社ギンビス様にご提供頂いた"たべっこどうぶつ"ビスケットも、飲み物に添え

一緒に楽しんでいただきました。

子供の頃によく食べたの「たべっこどうぶつ」味を懐かしむお母さん方も多く、幼児達がビスケット のどうぶつの形で会話を楽しむ様子も各所でみられました。お土産でもらった小袋「たべっこどうぶつ」をおやつに、あちこちで座って、嬉しそうに食べている子供たちの姿がみられました。

コーヒーは、nanairo コーヒーさんによる、自家焙煎コーヒー。ジュースやお茶も用意しました。









# ●PR/体験ブース紹介 (すべてお母さん。経験・技術・得意なことを活かした活動です)

# こども手づくり工房 Poket



自然の材料で手づくりきなこ棒づくり。 赤ちゃんを抱いたパパが側でサポート しました。

# クボパン工房



野菜のカービングと、手焼き菓子販売。 大学生の娘さんが一緒にサポートしま した。

# nanairo □-ヒ-



自宅工房で自家焙煎したコーヒーを 「こどもカフェ」と一緒に販売。

# 桑パン(桑名市地域活動支援センター)





ハンディをおもちの方々が、心をこめて、こだわりの安心素材で焼きあげるやさしい味のパン。 3度の仕入れ直しを行うほど、大行列ができました。

# Beras art ふうせんやさん



ふうせんを使ったフラワー アレンジメントを。子供達に大人気。

# 似顔絵 手づくり雑貨



あっというまに特徴をとらえた似顔絵を 描いてしまうのでこどもたちに人気でした。 本業は、日本語講師。

また、手づくりのフラワークラフトの販売。 春らしい、イチゴのアレンジでした。

# エコ・プランター作り



「mama すきる」による、牛乳パックを使った、エコプランター作り。 大変な人気で、イベント終了前に売り切れました。

# 占い 四柱推名



自分にどんな職業があうのか 占いからみてアドバイスを。

# 英語ラボ



絵本を使って、英語を教える。 高校生の息子さんと一緒に、絵本の読 み聞かせを英語で行いました。

# エコクラフト

エコテープを 使ってカゴ作り。

中学生の娘さんがお手伝いでサポートしました。

# フラワーアレンジメント



ハートの器にお花をアレンジする 教室は、大人気で、講師さんが 足りなくなった材料を取りに帰る ほどでした。

# ネイルサロン



朝からお母さん達に一番人気だった ネイル。子供達もネイルを楽しみました。

# 手づくり衣装 ミモザ



ステージでもバレエやダンスの発表 会を行い、舞台の素晴らしさ、楽し さを伝えました。

# 鍼灸師 マッサージ



小顔をめざした筋肉マッサージ を体験。 ママ達の関心の高いブースでした。

# パワーストーン



様々なストーンから、自分自身を 見つめ直す体験。 アクセサリー作りも行いました。

# こどもの家 SCM



赤ちゃんや、幼児と一緒に、お母さん達が モンテッソーリ教育を体験することができ ました。

# 料理教室

地元・桑名市や三重県の食材を使った、手軽に作ることのできる料理教室を随時開催しました。

# メニュー

- ●「桑名もち**小麦**」のパンケーキ
- ●「**アイス納豆**(桑名女性ネットワーク共同プロデュース)」と

「黒にんにくレストラン・ドレッシング(相可高校調理クラブ考案)」を使ったサラダ

イベント開始時から、料理教室へかけつける親子が多く、乳幼児を抱いたまま、一緒に調理を楽しむ方々の姿が多くみられました。





桑名市長さんも、子供達の調理を応援し、作った料理を一緒に試食されました。





料理講師は、桑名市の cappana 料理教室・中村華子さん、料理教室主宰・稲垣和美さん。





### ■地元食材(企業食品)の PR にもつながる。

本料理教室で体験した調理は、地元食材であることを強く PR。 また、自宅でも試してもらえるように、来場者へお土産に、企業様にご提供いただいた食材を配布。

「美味しいものを、自宅でも再現できる」という楽しみや喜びを、親子で体験してもらいました。

# 商 品 │ (企業様よりご提供いただきました)



株式会社小杉食品 アイス納豆 (桑名女性ネットワーク共同開発)



うれし野ラボ(株) 黒にんにくレストラン・ドレッシング (相可高校調理クラブ考案)







「アイス納豆」、または、「黒にんにくレストラン・ドレッシング」を 野菜・パスタにあえたサラダを作りました。



ヤマモリ株式会社 雑穀がおいしく食べられる釜飯 とり 雑穀がおいしく食べられる釜飯 五目



来場者さんへの、 スタンプラリーのお土産



後日、女性ネットワーク メンバーによる 試食調査結果報告提出

「アイス納豆」は、凍ったそのままをおやつのようにも食べてもらい、子供達には、大変好評でした。 ヘルシーなおやつとして、定着させて、地元のお母さん達が開発した地元からの新ヒット商品としたいものです。

「**黒にんにくレストラン・ドレッシング**」は、お母さん方からの関心が高く、素材の徹底した安全性に非常に興味を持たれていました。



「桑名もち小麦」のパンケーキ はもちもち食感が面白いと 人気でした。



「桑名女性ネットワーク」が開発のお手伝 を行って商品化された、器も使って、 調理を楽しんでいただきました。

# □ ステージ

桑名ゴスペルクワイア/金田えりかバレエ教室/スタジオパステル 出演

約300名の、講師・生徒さんたちがステージ上で歌や舞踊を披露しました。 赤ちゃんを抱いたままお母さんがステージで歌う姿、お母さんたちが胸を張ってステージの上で 舞踊や歌を披露す姿はいきいきと輝いていました。

子供の舞踊を見に来ていたお母さんたちが、励まされるも意見も多くいただきました。



# スタンプラリー

来場者の方には、①PR/体験スペース、②料理教室、③ステージ、の各所にスタンプを用意し、スタンプラリーによって、お土産を用意いたしました。 企業様より、数多くの商品をご提供いただきました。



### 支え合いの精神が生まれる

本イベントに関わった(出展者・スタッフ等)多くのお母さん達は、ほとんどの方々が、幼い子供たちを連れてきていました。または、途中で習い事のお迎えに出て行かなければならない、といった子育ての所用が必然でした。少し大きいお子さんの場合、講師のお母さんを隣でサポートしていました。

しかし、この日はじめて合うというにも関わらず、講師で忙しくなったお母さんの子供をみてあげたり、少し外出しなくてはらなないお母さんの子供をあずかったり、「**気持ちがよくわかるから大丈夫」という支え合いの精神**が各所でみられました。

何かを共に一緒に行う、または仕事をする、といった時に、子育てにおけるちょっとした支え合いができることが お母さんとしてのキャリア・経験により生まれるものです。

この母親だからこそのスピリットを、より広く、より意味ある活動に繋げてゆきたいと思っています。

### 私にも何かできるかもしれない

本イベントへの来場者が、第1回目にも関わらず、550名という多くの人の興味をひいたということは、地域の中に「同じ思いが潜在的に大きく存在する」ということを意味していると考えられます。

来場者へのアンケート結果の中には、「自分も何かできるのなら出展してみたい」という声が多くありました。 「私にも何か得意なものがあればいいのに」

「講師の人たちを見てとても刺激を受けた。私もがんばろう!」

「自分もこんなこと役にたてて、とても嬉しい!」

「赤ちゃん、パパの手をかりながら、自分も何かできる、そんな地域社会になってほしい。」

「がんばっている姿を見ていて、誇らしかった。」

といった、お母さんたちの意見が寄せられました。

### 拡散する

イベント時から、FaceBook や line のような SNS を使用して、会場の様子や、展示ブースを出したお母さん達の活動、料理やステージの様子が、来場者から投稿され、シェアされ続けました。

また、お土産の企業様からの商品も写真で投稿されていました。(PRへつながる)

そこへの反応も、「それはどういったものなんだろう?」という興味と、「自分も体験してみたい。」といったものが多くみられ、多数の「いいね!」アクションがおこっていました。

こういったイベントをボランティアだけで行ってしまうのは、PRや集客、イベント運営が難しくなりがちです。 企業様や様々な機関のお力を、しっかりとお借りして、しっかりと結果を出してお返しする。

協業させていただく精神で、運営にプロフェッショナル性、持続性を生み出してゆきたいと考えています。





facebook で多数、投稿されました

桑名女性ネットワークは、より多くの女性達が地域社会の中で、小さくとも活躍できる場を築けるように、 さらには、支え合いの精神を広く大きく発揮しあえるコミュニティづくりを目指して活動いたします。 ひいては、それが私達のこどもに伝わりゆく「地域社会文化」となることを願っています。